

福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会および 北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会決起集会が開催されました。

6月1日(日)にJA福井県小浜支店において、福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会が開催されました。

福井県選出の国会議員や知事、嶺南市町首長など約190人が参加しました。

会長の杉本福井県知事は挨拶で「地域全体で力を合わせることが、小浜・京都ルートの早期実現や、小浜先行開業の初夢が正夢になる力となると確信している」と話しました。

総会では、小浜・京都ルートの日も早い認可・着工に向け、詳細な駅位置・ルートの決定など8項目について決議しました。

続く講演会では、京都大学 藤井聡教授が、小浜・京都ルートによる全線開業の必要性や合理性について話をされました。



6月14日(土)にはJA福井県小浜支店において、北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会の決起集会が開催されました。

福井県選出の国会議員をはじめ、沿線自治体の首長、関係団体、住民ら約400人が参加しました。

会長の杉本小浜市長は、「小浜・京都ルートは揺るぎない。夏の概算要求や年末の予算編成に照準を合わせ、国や政府に働きかけを強め、何としても早期実現を勝ち取りたい」と挨拶されました。

決起大会では、「着工5条件の早期解決」や「小浜先行開業の検討」など4項目を決議し、最後に参加者全員が新幹線うちわを高らかに掲げ、ガンバロー三唱で結束しました。

